

流域掲示板

■「身近な水環境の全国一斉調査」が行われました！

毎年6月に開催されている、「身近な水環境の全国一斉調査」が新河岸川流域でも実施されました。この調査は2004年6月に開始され、今年は21回目となりました。参加団体は徐々に増え、流域内の市民団体や学校など、現在は30団体ほど参加いただいております。協力団体の一つである自由学園では、校内を流れる立野川などにおいて、先輩から後輩に、採水や水質調査の方法を教えながら取り組んでいました。今年の全国一斉調査は200地点を超える場所で、河川の水質の状態を示すCODや透視度の測定、ごみの量や水量などの調査を行い、新河岸川流域の河川の状態を把握しています。

■埼玉県立志木高等学校 川のフィールドワーク

令和6年3月15日、志木市環境市民会議の委員有志で県立志木高校1年生24名の川のフィールドワークを支援しました。身近な川を実体験するため柳瀬川に入り魚捕りを行いました。「つめたーい」という声も聞こえましたが、みんなすぐに魚捕りに集中し、ヌマチチブや、ドジョウ、カワリヌマエビの仲間などを手網を使って捕獲できました。捕まえたドジョウをうっとりと眺め、魚と記念撮影をし、高校生たちにとってフィールドワークは新鮮な体験であったようです。最後に、この体験が生徒たちの今後の学びに少しでも役立ってくれることを願い「新河岸川流域 切り絵のモデル地マップ」を配布し、活動を振り返りました。

■水質分析体験会のお知らせ

今年も法政大学文学部水文地理学研究室にご協力いただき、水質分析体験会を開催いたします。パックテストのほか、実験器具を使用した分析が無料で体験できます。ぜひお誘いあわせの上で参加ください。

【概要】

- 日時：7/20(土) 10:00～12:00
- 場所：法政大学
市ヶ谷キャンパス ポアソナードタワー
市ヶ谷駅または飯田橋駅徒歩10分

【申込方法】

ご参加を希望される方は、連絡会事務局宛にご連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。

- 申込内容：氏名、連絡先（メールアドレス、電話番号）
- 連絡先：連絡会事務局メールsogo-bosai@dx.n-koei.co.jp
電話 03-3238-8257
- 担当：小野寺
- 〆切：7/17(水)



全国一斉調査の様子

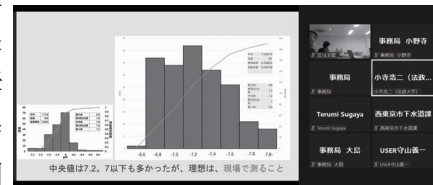


フィールドワークの様子



事務局だより

5月16日(木)に第1回新河岸川流域川づくり連絡会をWEB会議形式で開催しました。第1回連絡会では、令和6年度の活動方針、令和6年12月に開催を予定している第20回川でつながる発表会や野川流域連絡会との交流会などについて協議しました。また、連絡会後半の勉強会では、法政大学文学部水文地理学研究室の小寺先生から一斉調査の水質分析結果から見た新河岸川流域の地域特性についてご説明いただきました。



第1回連絡会での勉強会の様子

川づくり連絡会に参加してみませんか？

令和6年度の新河岸川流域川づくり連絡会は、3回の開催を予定しています。参加希望の方は事務局宛にお問い合わせください。

しんぶん里川掲載情報を大募集します！

各地域での活動報告やイベント情報を募集しています。川に関する身近な情報などをFAXまたははがきなどで下記連絡先までお寄せ下さい。

■連絡先

新河岸川流域川づくり連絡会 事務局
(国土交通省関東地方整備局
荒川下流河川事務所 流域治水課)
〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1
TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346
URL https://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage_index044.html

THE SHINGASHI BASIN NEWS 新河岸川流域しんぶん

発行 ●新河岸川流域川づくり連絡会（荒川下流河川事務所 流域治水課）
住所 ●東京都北区志茂5-41-1 TEL03-3902-3220 FAX03-3902-2346
発行日 ●令和6年（2024）7月10日

VOL. 104



切り絵 毛利将範

切り絵の解説

新河岸川と柳瀬川の合流点にある「いろは親水公園」に接してこんもりと繁る斜面林があり、その麓にこもれびのこみちと水路、あずまや、トンボ池があります。トンボ池から流れ出る細い水路の先に、年中枯れない湧水があります。トンボ池では、オニヤンマ、オオシオカラトンボ、コシアキトンボ、ハグロトンボ、サナエトンボやイトトンボの仲間など、様々な種類のトンボが見られます。まれにカワセミのダイビングが見られることもあります。

目次

- P2～3 令和6年度活動予定・川まつり開催案内
- P4 流域掲示板
事務局だより
- P5 特集：荒川放水路通水100周年
荒川放水路をふりかえる

今年も暑い夏がやってきました。みなさんいかがお過ごしでしょうか。
2024年の夏はラニーニャ現象の影響により、2023年の夏よりも気温が高くなる可能性があるようです。今年も熱中症には十分お気をつけてお過ごしください。
新河岸川流域では、7月から8月にかけてたくさんの方の川まつりの開催が予定されています。今号の中面で開催情報を紹介していますので、ご家族やお友達と一緒にぜひご参加ください！
また、特集記事では、2024年に通水100周年を迎える荒川放水路について紹介しています。荒川放水路とその歴史について、ぜひ振り返ってみてください。

しんがしがわりゅういき
新河岸川流域

ねんかんかつどうよてい
令和6年度年間活動予定

令和6年度も、新河岸川流域川づくり連絡会は新河岸川流域の住民に対し、“いい川づくり”につながる様々な活動を行う予定です。

具体的には、新河岸川流域で活動する市民団体の方々が意見交換などを行う「新河岸川流域川づくり連絡会」、流域内の学生や市民団体などが普段の活動成果を発表する「川でつながる発表会」、多摩川水系の野川流域の方々と情報交換する「野川流域連絡会・新河岸川流域川づくり連絡会の交流会」の開催を予定しています。

また、定期的に発行している「新河岸川流域しんぶん里川」を通じて、“いい川づくり”に関する情報を発信します。

しんがしがわりゅういき
新河岸川流域

なつ
夏のイベント紹介

しょうかい
今年開催される夏のイベントを紹介します。詳しい内容は、各イベントの問合せ先までご確認ください。

かいさいにっけい
開催日程

しんがしがわりゅういき
新河岸川流域

なつ
夏のイベント

くろめがわ
黒目川
(朝霞市)

だい
第29回黒目川川まつり

■日時: 2024年7月14日(日) 10:00~14:00 小雨決行 (雨天中止)
■場所: 朝霞市溝沼郵便局脇の黒目川・新高橋 (JR北朝霞駅から徒歩約15分)

●内 容: 川掃除、水質調査体験、魚とり教室、安全な川遊び、ザリガニ釣り、ザリガニ供養、スイカ割り、カヌー体験、タイヤボート

●持 ち 物: 昼食、着替え、川に入れる靴

●申 込 込: 不要 ●参加費: なし ●駐車場: なし (付近にコインパーキングあり)

●主 催: 黒目川川まつり実行委員会

●問合せ先: 090-2436-1243 (小林)



くろめがわ
黒目川
(東久留米市)

だい
第31回わくわく川掃除&川あそび

■日時: 2024年7月21日(日) 10:00~15:00 雨天中止
■場所: 小山れんげ公園 (西武池袋線 東久留米駅から徒歩約10分)

●内 容: 10:00~11:30 河川清掃
12:00~ 太鼓演奏、魚とり、タイヤボート乗り、竹の一本橋渡り、スイカ割り

●持 ち 物: 飲み物

●申 込 込: 不要 ●参加費: なし ●駐車場: なし

●主 催: わくわく川掃除&川あそび実行委員会

●問合せ先: 090-2642-9442 (菅谷)



くろめがわ
黒目川
(新座市)

かわあそ
わいわい川遊び

■日時: 2024年8月4日(日) 9:30~12:30 前日および当日の天気に基づき中止を決定
■場所: 栗原一丁目公園 (西武バス 火の見下バス停から徒歩約5分)

●内 容: 川掃除、魚とり、川遊び、魚類調査、スイカ割り

●持 ち 物: 着替え、川に入れる靴、飲み物

●申 込 込: 不要 ●参加費: なし

●駐 車 場: なし

●主 催: たかやんの応援団

●問合せ先: 090-6497-5737 (高邑 (たかやん))



やなせがわ
柳瀬川
(清瀬市)

かんきょう かわ
きよせの環境・川まつり

■日時: 2024年7月27日(土) 9:00~14:00 雨天中止
■場所: 柳瀬川・台田運動公園 清瀬駅北口より西武バス「清64」「清64-2」台田団地行き乗車「台田団地中央」下車徒歩3分

●内 容: 清瀬市で活動する団体の展示、ガサガサ、ウォーターバレーン、たらい舟など

●持 ち 物: 着替え、川に入れる靴

●申 込 込: 不要 (状況により受付で整理券配布)

●参加費: なし ●駐車場: なし

●主 催: きよせの環境・川まつり実行委員会

●問合せ先: 042-497-2099 (清瀬市環境課)



きたがわ
北川
(東村山市)

きたやま
北山わんぱくまつり

■日時: 2024年9月15日(日) 午前実施予定 雨天中止
■場所: 北山公園(東村山市) (西武国分寺線 東村山駅から徒歩約15分)

●内 容: 北川カヌー体験、魚とり体験、北川水族館、紙芝居、木工、キッチンカー、ザリガニ釣り

●持 ち 物: 着替えなど

●申 込 込: 不要 (カヌー体験は当日配布する整理券が必要)

●参加費: なし ●駐車場: なし

●主 催: 北山わんぱくまつり実行委員会・東村山市

●問合せ先: 042-393-5111(東村山市みどり公園課)



※6月11日時点での情報のため、変更の可能性があります。

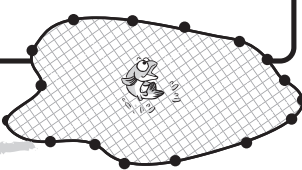
かいさいほうこく
イベント開催報告

ど
5/18(土)

からぼりがわ ひがしやまとし だい かい からぼりがわ かわ
空堀川(東大和市)「第6回空堀川・川まつり」

主催: 東大和「空堀川・川まつり」市民会議
共催: 東大和まちおこし連絡会・空堀川を考える会

晴れ渡る空の下、市民が主催する川まつりが開催され、100組を超える親子が川辺で自然を楽しみました。子どもたちは地域住民と共に投網や釣りを体験し、川の魅力を存分に味わいました。川で遊ぶ人々の姿は、地域の絆を感じさせる美しい光景でした。このまつりが、自然とのふれあいと地域交流を深める貴重な機会として、末永く続くことを期待しています。



川の生き物が好きで参加した。いろいろな遊びができて楽しかった。特に、投げ網体験で魚を捕まえることができたのがうれしかった。

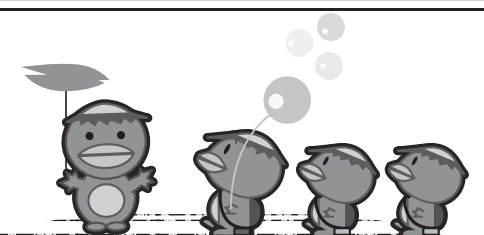


しょうけい
小学生



ほこしゃ
保護者

かわ
川まつりの案内を見て参加した。近所の川で自然を楽しみ、地域の方と交流できるとてもよい機会だった。子どもも楽しんでいたので、今後も参加したい。



第6回空堀川川まつりの様子



荒川放水路
通水100周年記念

あらかわほうすいろ

荒川放水路をふりかえる



ねんかん まも
ぼくたちを100年間も守ってきた
あらかわほうすいろ
荒川放水路は、今までどんな役
わりは
割を果たしてきたんだろう？



あらかわほうすいろ

荒川放水路とは

＜新河岸川と荒川＞

しんがしがわ あらかわ
しんがしがわ さいたまけん なんせいぶ とうきょうと ほうせいぶ いちぶ りゅういき
新河岸川は、埼玉県の南西部・東京都の北西部の一部を流域にもつ荒川水系の支川のひとつです。

＜荒川放水路とは＞

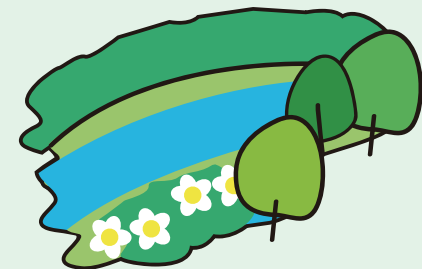
あらかわほうすいろ
荒川放水路とは、川の流れをよくするために人がつくった荒川と東京湾をつなぐ水路のことです。

かわ みず なが のりよく こうじょう
川の水を流す能力を向上させます。

あらかわほうすいろ ねん つうすい ねんかんいちど こわ
荒川放水路は1924年の通水から100年間一度も壊れることなく、わたしたちをずっと守り続けています。

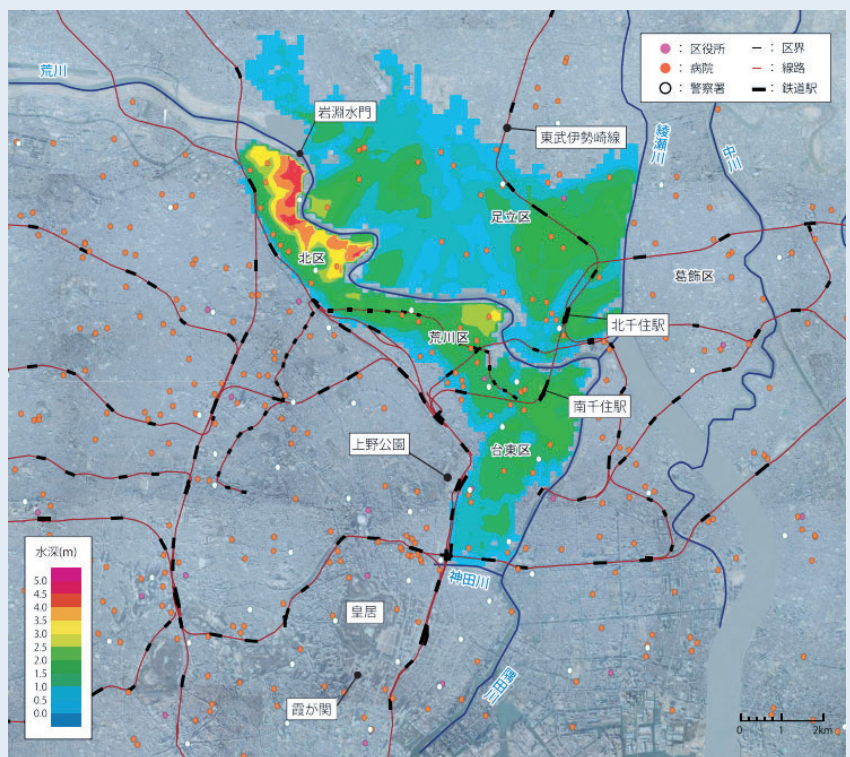
＜岩淵水門＞

いわぶちすいもん
いわぶちすいもん すみだがわ さいじょうりゅうぶ すいもん そうすいじ もん と
岩淵水門は隅田川の最上流部にある水門です。増水時には門を閉じて、荒川の水が隅田川に流れてくるのを防ぎます。



もし荒川放水路がなかったら？ シミュレーションの結果

みぎ ず たいふう
右の図はカスリーン台風
あらかわほうすいろ
がきたときに、荒川放水路が
ばあい はんらん
なかった場合の氾濫シミュ
レーション結果です。色がつ
いてる部分は浸水してい
ることを示します。赤い地域
では浸水の深さはおよそ5m
です。広範囲で浸水が発生
していたと考えられます。



カスリーン台風

たいふう
カスリーン台風は、1947年に東日本全域に大きな浸水
ひがい
被害をもたらした、非常に強い台風です。

あらかわほうすいろ ひがしにほんぜんいき おお しんすい
荒川放水路東側の広い範囲が浸水しましたが、都心側
には到達しませんでした。荒川放水路がなかった場合、
すみだがわ えんせん おお しんすい おお じゅうみん ひがい
隅田川沿川で大きな浸水がおきて、多くの住民が被害に
あつてしまいます。また、日本の高度成長を支えた多くの
工場が浸水していたと考えられています。

あらかわほうすいろ いま にほん じょうきょう
もしも荒川放水路がなかったら、今の日本の状況とは
大きく違っていたかもしれません。

荒川放水路▶

1930年 荒川放水路完成

1947年 カスリーン台風

1951年 改修計画が立案される

1965年 荒川放水路が正式に荒川の本流となる

～1966年 河川改修

・・・放水路の断面積を広げることで、洪水を流下させる能力が
大きくなりました。

1982年 岩淵水門完成

・・・施設の老朽化や基本計画の改定に
よって、水門の高さが不足したこと
から新しい水門がつくられました。

2019年 台風19号（東日本台風）

・・・戦後3位の水位を記録しましたが、氾濫を防ぎました。

2024年 荒川放水路 通水100周年



▲荒川放水路通水式



▲岩淵水門

荒川放水路とわたしたち

あらかわかりゅうぶ
荒川下流部のまちは川の水面よりも低い位置にあるの
で、水があふれやすく、これまでに何度も大洪水が起きてい
ます。荒川放水路は100年にわたりわたしたちを守ってくれ
ていますが、気候変動などにより水災害の危険性はますます
す大きくなっているため、わたしたちも自らのちを守るための対策
をすることが大切です。洪水が起きたときに被害が大きくならないよ
うに、洪水が起きる前にできる準備をしましょう。

み ぼうさい
ハザードマップを見たり防災
訓練に参加しておく、いざと
いうときに安心だね。
災害が起きたらどうするか、家族
や友達と話し合ってみよう。

もっと詳しく知りたい方
はこちらから



荒川下流河川事務所ホームページ

見てみよう